

経営改善計画の進捗状況について（令和元年度末）

（公社）徳島森林づくり推進機構 経営改善計画（第2期：H24～R2）



1 管理森林の拡大による効率的な森林経営

○森林経営規模の拡大

機構の収入増加を図るうえでの柱として、「森林経営管理制度」と連携しつつ、自ら管理できない所有者からの森林の購入や、市町村等からの経営管理の受託により、経営規模の拡大を進める。

	R1 末実績	進捗率
森林経営面積	13,608ha	75%
森林取得面積	731ha	73%
管理受託面積	3,885ha	71%

+2.9億円



2 木材生産と植林体制の強化

○木材の増産

将来の分収林からの生産量12万m3／年の実現に向け、直営班の能力増強、外注による生産体制、利益率を向上させる直送体制の確立などにより、素材生産量の増大を進める。

併せて主伐後の確実な再造林体制を構築する。

	R1 末実績	進捗率
木材生産量	45,227m3	90%
外注生産量	33,851m3	89%
直営生産量	11,376m3	95%
植林面積	77ha	96%

+0.2億円



3 分収林契約問題の早期解消

○分収林契約の変更

分収林問題の早期解決に向け、「長伐期化」「分収割合の引き上げ」の契約変更を着実に進める。併せて、相続後の管理が困難な森林や、経営団地として公有林化が望ましい分収林の「買取り」を進める。

	R1 末実績	進捗率
契約変更率	80.2%	89%
分収林買取面積	1,801ha	60%

+0.4億円



「伐る」「使う」「植える」森林の循環利用サイクル

4 緑化推進によるイメージ戦略の展開

○緑のイメージ戦略の展開

気候変動対策において、これまで以上に森林の役割がクローズアップされる中、持続可能な社会を目指す「SDGs」の観点を取り込みつつ「とくしま協働の森づくり事業」のさらなる展開を目指す。

	R1 末実績	進捗率
F A B の設置	3 エリア	100%
「使う緑化」の開始	開始	100%
地域版 J クレジット制度		



5 新たな森林ビジネスの展開

○新たな森林ビジネスの展開

県内の森林に関する広範な情報を有し、経営管理から施業までのあらゆるノウハウを持つ機構の強みを活かし「森林経営管理制度」において市町村をサポートするコンサルタント事業など、新たな森林ビジネスを進め、機構の収入源を広げる。

	R1 末実績	進捗率
コンサルタント事業	南部、東部吉野川	100%
フィールド提供/企業連携		



6 森林・林業の人材基盤の構築

○林業アカデミーの充実・強化

求人倍率3倍を超える旺盛な求人要求に応えるよう、林業アカデミーの定員を増枠し、即戦力の育成を強化する。また、広く地域林業の担い手育成の観点から、研修、就業対策における市町村との連携を進めるとともに、多様な人材の育成に努める。

	R1 末実績	進捗率
増枠（20人）	20	100%
市町村との連携		
総合教育機関化		



経営改善の効果額（令和元年度末）

	H30末	R1 末実績	R2 目標	進捗率	将来目標
【平成24～令和2年度】 （第6期10～11分期）	26.2億円	29.7億円	38億円	78%	
【令和67年度までの長期見通し】	199.4億円	202.9億円		77%	262億円

+3.5億円